

職業実践専門課程等の基本情報について

学校名		設置認可年月日		校長名		所在地		
名古屋ウェディング&ブライダル専門学校		平成25年3月28日		古淵 泰弘		〒 451-0045 (住所) 愛知県名古屋市区名駅2-27-36 (電話) 052-541-3300		
設置者名		設立認可年月日		代表者名		所在地		
学校法人三幸学園		昭和60年3月8日		鳥居 敏		〒 113-0033 (住所) 東京都文京区本郷三丁目23番16号 (電話) 03-3814-6151		
分野	認定課程名		認定学科名		専門士認定年度	高度専門士認定年度	職業実践専門課程認定年度	
商業実務	商業実務専門課程		ウェディングプランナー科		平成27(2015)年度	-	平成28(2016)年度	
学科の目的	「世の中の困難を希望に変える。」をミッションとし、学校教育法に基づき、ブライダル業界の関連分野において、活躍する人材を育成するため、必要とされる知識と技能を教授することを目的とする。							
学科の特徴(取得可能な資格、中退率等)	ブライダルコーディネート技能検定、レストランサービス技能検定、ブライダルメイクアップ検定、花嫁着付け2級等							
修業年限	昼夜	全課程の修了に必要な総授業時数又は総単位数		講義	演習	実習	実験	実技
2年	昼間	※単位時間、単位いずれかに記入	— 単位時間	— 単位時間	— 単位時間	— 単位時間	— 単位時間	— 単位時間
			62 単位	49 単位	52 単位	6 単位	0 単位	0 単位
生徒総定員	生徒実員(A)		留学生数(生徒実員の内数)(B)		留學生割合(B/A)	中退率		
240 人	241 人		0 人		0 %	6 %		
就職等の状況	■卒業者数(C)		123 人					
	■就職希望者数(D)		113 人					
	■就職者数(E)		102 人					
	■地元就職者数(F)		70 人					
	■就職率(E/D)		90 %					
	■就職者に占める地元就職者の割合(F/E)		68 %					
	■卒業者に占める就職者の割合(E/C)		83 %					
	■進学者数		6 人					
	■その他							
	就職希望無し等							
(令和 6 年度卒業者に關する令和 7 年 5 月 1 日時点の情報)								
■主な就職先、業界等								
(令和6年度卒業生)								
株式会社ベストブライダル、株式会社プラス、株式会社フォーシスアンドカンパニー、株式会社ベストアニバーサリー								
第三者による学校評価	■民間の評価機関等から第三者評価: ※有の場合、例えば以下について任意記載				無			
	評価団体:		受審年月:		評価結果を掲載したホームページURL			
当該学科のホームページURL	https://www.sanko.ac.jp/nagoya-bridal/							
企業等と連携した実習等の実施状況(A、Bいずれかに記入)	(A: 単位時間による算定)							
	総授業時数				— 単位時間			
	うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数				単位時間			
	うち企業等と連携した演習の授業時数				単位時間			
	うち必修授業時数				単位時間			
	うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数				単位時間			
	うち企業等と連携した必修の演習の授業時数				単位時間			
	(うち企業等と連携したインターンシップの授業時数)				単位時間			
	(B: 単位数による算定)							
	総単位数				107 単位			
うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数				6 単位				
うち企業等と連携した演習の単位数				5 単位				
うち必修単位数				12 単位				
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数				0 単位				
うち企業等と連携した必修の演習の単位数				1 単位				
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数)				6 単位				
教員の属性(専任教員について記入)	① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等においてその担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 (専修学校設置基準第41条第1項第1号)				7 人			
	② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号)				6 人			
	③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号)				0 人			
	④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号)				0 人			
	⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号)				3 人			
	計				16 人			
	上記①～⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の実務の能力を有する者を想定)の数				9 人			

1.「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課程の編成を行っていること。」関係

(1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本方針

企業等との連携を通じて必要な情報の把握・分析を行い、実践的かつ専門的な職業教育を実施することを目的として、教育課程編成委員会を設置する。委員会は次の各号に掲げる事項を審議し、授業科目の開設や授業方法の改善・工夫に生かす。

- (1)カリキュラムの企画・運営・評価に関する事項
- (2)各授業科目の内容・方法の充実及び改善に関する事項
- (3)教科書・教材の選定に関する事項
- (4)その他、教員としての資質・能力の育成に必要な研修に関する事項等

またより正確に業界における動向や求められる人材要件を把握するため、就職・実習先企業や業界団体、資格・検定団体等と関係性を深め、幅広く連携を図ることで、業界の求めるニーズを確実に捉え、本校のカリキュラムや授業内容に反映する。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

教育課程編成委員会での審議を通じて示された企業等の要請その他の情報・意思を十分に生かし、実践的かつ専門的な職業教育を実施するに相応しい教育課程の編成を協力して行うものとして位置づけている。

具体的には、審議を通じて示された教育課程編成に係る意見を基に、副校長および各校教務チームによって教育課程およびシラバスの改善素案が作成され、ブライダル分野専門委員会(別紙組織図:各専門委員会)にて提案される。

提案に基づき、ブライダル分野専門委員会にて審議の上、次年度の教育課程およびシラバスに改善内容が反映される。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
林 一馬	全米ブライダルコンサルタント協会 日本オフィス所長	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	①
中田 将司	株式会社アルカンシェル	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
南谷 伸一	有限会社ケー・シー・ピュア	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	③
山内 朝子	名古屋ウェディング&ブライダル専門学校 副校長	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	—
坂本 愛喜子	名古屋ウェディング&ブライダル専門学校 主任	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	—

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①～③のいずれに該当するか記載すること。
(当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「—」を記載してください。)

- ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)
- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員

(4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (5月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和7年2月12日 13:00～14:30

第2回 令和7年5月26日 15:15～17:45

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。

①コミュニケーション力の重要性を伝え、チームで動くことを磨いていくことが大切。30歳くらいの卒業生で業界内活躍している方から業界のリアルを話してもらうのも良い(2年生の終わりがけに社会人になる心構えとして伝えてもらう)

⇒対応:後期オリエンテーション時等に全学年が集まる機会等で卒業生へ講話・研修の依頼を検討する。

2.「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習（以下「実習・演習等」という。）の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

実践的な指導を施すにあたり、ウェディング業界における実績や、実践的かつ専門的な知識・技術およびその指導能力を有する指導者が得られる企業等を選定し、実践計画の作成から連携を図る。ウェディング業界の求める人材要件に沿った計画、および評価基準・方法を設定し、企業等からのフィードバックに基づいた成績評価を行うことを基本方針とする。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

* 授業内容について（1年次後期に、企業と連携をして、今後のブライダル業界を担う人材として業界の課題を見つけ、改善するために企画力と再現力を身に付け、プレゼンテーション能力を学ぶ。）

* 評価について（連携企業による項目別の評価をもとに最終評価に反映させ、成績認定を行うものとする）

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科 目 名	企業連携の方法	科 目 概 要	連 携 企 業 等
ブライダルプロジェクトⅠB	2.【校内】企業等からの講師が一部の授業のみを担当	必須行事であるブライダルコンペティションを創り上げることを通して、企画力や発想力、プレゼンテーション能力を身につける	CANOW
フラワーアレンジ	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	検定取得を目指す 装花の種類を理解し、様々なスタイルと作成技術を学ぶ	合同会社マリア
着付けA	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	着付けに関する知識・技術を身に付けると同時に、検定取得を目指していく	有限会社ビバーチェ
着付けB	1.【校内】企業等からの講師が全ての授業を主担当	着付けに関する知識・技術を身に付けると同時に、検定取得を目指していく	有限会社ビバーチェ
インターンシップⅠ	3.【校外】企業内実習（4に該当するものを除く。）	ブライダルの現場を通して、現場力・即戦力・社会人としてのマナーを身に付ける	株式会社アルカンシェル

3.「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究（以下「研修等」という。）の基本方針

実践的かつ専門的な職業教育を実施し、明日のブライダル業界を担う人材を養成するためには、教員一人ひとりが常に業界ならびに実務に関する最新の知識を持ち、指導スキルを身につけようという向上心がなければならない。そのために、「研修等に係る諸規程」に基づき、計画的に以下の研修を実施している。

- ・企業等から講師を招いた実践的かつ専門的な知識・技術・技能を修得するための研修
- ・企業等から講師を招いた指導力の修得・向上のための研修

(2)研修等の実績

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	未来ウェディングジャパンが目指す業界展望及び今後の業界発展	連携企業等：	株式会社高見様他2社
期間：	令和6年8月23日	対象：	クラス担任教員11名
内容	FWJが目指す業界展望及び今後の業界発展のために、専門学校へ求めること・期待すること		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	皆さんに伝えたい教育に活かせる幸せの法則	連携企業等：	株式会社アビリティトレーニング
期間：	令和7年2月25日	対象：	教職員49名
内容	①人生の幸せはどれだけ多くの人をどれだけ喜ばせることができたかで決まる②自分への存在承認が幸せの第一歩③確信を持つ者は、あきらめずに課題に向き合い続ける		

(3)研修等の計画

①専攻分野における実務に関する研修等

研修名：	ブライダルマーケットの昔と今と未来	連携企業等：	ブライダル産業新聞社 権藤様
期間：	令和7年8月21日	対象：	クラス担任教員14名
内容	マーケット状況が変わりゆく中で、今、ブライダル業界に求められる資質・学校に求められること		

②指導力の修得・向上のための研修等

研修名：	教育に活かすモチベーションUPの仕方	連携企業等：	マネジメント開発研究所
期間：	令和8年2月24日	対象：	教職員43名
内容	生徒をやる気にさせ、主体性を養う方法を学ぶ		

4.「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

学校関係者として、関連分野の業界関係者及び卒業生、地域に根差した関連企業と共に、学校関係者評価委員会を設置して、教育目標や教育について評価し、その評価結果を次年度の教育活動および学校運営の改善の参考とする。
学校関係者評価は、「専修学校における学校評価のガイドライン」の評価項目を使用して実施した自己点検・自己評価の結果を基に「実施することを基本方針とする。また評価結果は学校のホームページで公表し、委員会で得られた意見についてはすみやかに集約し、各業務担当者にフィードバックすることで、学校運営の改善に生かすものとする。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの評価項目	学校が設定する評価項目
(1)教育理念・目標	(1)教育理念・目標
(2)学校運営	(2)学校運営
(3)教育活動	(3)教育活動
(4)学修成果	(4)学修成果
(5)学生支援	(5)学生支援
(6)教育環境	(6)教育環境
(7)学生の受入れ募集	(7)学生の受入れ募集
(8)財務	(8)財務
(9)法令等の遵守	(9)法令等の遵守
(10)社会貢献・地域貢献	(10)社会貢献・地域貢献
(11)国際交流	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

委員会にていただいた以下の意見について対応を行っている。

①教員研修が積極的に受講できないとのことだが、工夫が必要で、まずは全教職員が集まる際のランチの時間を使用してオンデマンド研修を流してみたらどうか？内容も分かり、それであれば受講しようという方もでてくるのではないが。

⇒対応:全体会議のランチタイムにオンデマンド研修の実施を検討する

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

令和7年7月31日現在

名 前	所 属	任期	種別
大塚 淳夫	有限会社ビバーチェ	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員
大橋 ユカリ	CANOW	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	企業等委員
藤原 信一	飛鳥未来高等学校名古屋キャンパス	令和7年4月1日～令和8年3月31日(1年)	高校教員

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

(ホームページ)・広報誌等の刊行物・その他())

URL: <https://www.sanko.ac.jp/nagoya-bridal/information/assets/pdf/kankeisya.pdf>

公表時期: 令和7年6月20日

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1) 企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」に則って情報提供を行うことを基本方針とし、以下の姿を目指す。

1. 学校の指導方針や課題への対応方法等に関し、教職員・生徒間、学校・家庭間の共通理解が深まり、教育活動の活性化や学校運営の円滑化につなげること。
2. 入学希望者やその保護者に対し、進路選択に当たっての有用な情報を提供するとともに、一人ひとりの能力・適性にあった望ましい進路の実現に資すること。
3. キャリア教育・職業教育をはじめとした教育活動の状況等について、業界関係者に情報提供することで、相互の対話が促され、実習・就職指導等企業等との連携による活動の充実や、業界等のニーズを踏まえた教育内容・方法の改善につなげること。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1) 学校の概要、目標及び計画	学校の概要、目標および計画
(2) 各学科等の教育	学科概要、カリキュラム、シラバス、客観的な指標の算出方法、卒業要件、目指すべき人材像、取得可能資格、就職実績
(3) 教職員	教員数、組織、専門性
(4) キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育への取り組み、実習実技への取り組み
(5) 様々な教育活動・教育環境	学校行事
(6) 学生の生活支援	生活上の諸問題への対応
(7) 学生納付金・修学支援	学生納付金、就学支援
(8) 学校の財務	学校の財務
(9) 学校評価	自己評価・学校関係者評価結果
(10) 国際連携の状況	
(11) その他	

※(10)及び(11)については任意記載。

(3) 情報提供方法

(ホームページ) 広報誌等の刊行物 ・ その他())
URL: <https://www.sanko.ac.jp/nagoya-bridal/information/>
公表時期: 令和7年6月20日

授業科目等の概要

(商業実務専門課程 ウェディングプランナー科)																
	分類			授業科目名	授業科目概要	配当 年次・学期	授 業 時 数	単 位 数	授業方法			場所		教員		企業等との連携
	必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任	兼任	
1	○			ブライダル知識ⅠA	婚礼の歴史や挙式・披露宴の基礎知識を学び、「アシスタントブライダルコーディネーター検定」取得を目指す	1年前期	15	1	○			○		○		
2	○			ブライダル知識ⅠB	婚礼の歴史や挙式・披露宴の基礎知識を学び、「アシスタントブライダルコーディネーター検定」取得を目指す	1年後期	15	1	○			○		○		
3	○			未来デザインプログラムA	ビジネス書の「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う	1年前期	15	1	○			○		○		
4	○			未来デザインプログラムB	ビジネス書の「7つの習慣」を教材に用い、7つの項目を習慣化することにより成功する為の力を養う	1年後期	15	1	○			○		○		
5			○	ブライダルビジネスマナー	敬語の使い方、履歴書の書き方やビジネス文書の書き方など、社会人としての考え方をはじめ、ルールやマナーを学ぶ	1年前期	30	2	○			○		○		
6			○	パーソナルカラー	ファッションコーディネートの現場で即戦力となれるように、色に関する知識、法則、技法を理論的かつ実践的に身に付ける	1年後期	30	2	○			○			○	
7			○	キャリアデザインⅠA	検定や行事等のスケジュール確認や伝達事項の確認を行う また、就職やインターンシップの事前指導や就職面接などを学ぶ	1年前期	30	2	○			○		○		
8			○	キャリアデザインⅠB	検定や行事等のスケジュール確認や伝達事項の確認を行う また、就職やインターンシップの事前指導や就職面接などを学ぶ	1年後期	30	2	○			○		○		
9			○	マーケティング	必須行事であるブライダルコンペティションと連動し、ブライダル業界のニーズや動向について知る	1年後期	15	1	○			○		○		
10			○	ドレスデザインA	衣装の知識を学び、全米ブライダル協会ドレススタイリスト検定取得を目指す	1年前期	30	2	○			○		○		
11			○	ドレスデザインB	衣装の知識を学び、全米ブライダル協会ドレススタイリスト検定取得を目指す	1年後期	30	2	○			○		○		
12			○	インターンシップ対策	ブライダルの現場に出るための準備や社会人としての考え方や心構えを養う	1年前期	15	1	○			○		○		

13			○	アテンド実践 A	結婚式当日のアテンダー（介添）の知識、立ち振る舞い、心得を修得する	1 年 前 期	30	1		○		○		○					
14			○	フラワーアレ ンジ	検定取得を目指す 装花の種類を理解し、様々なスタイルと作成 技術を学ぶ	1 年 前 期	45	2		○		○				○	○		
15	○			ブライダルプ ロジェクト I A	必須行事である模擬挙式を創り上げることを 通して、挙式の流れや役割、想像力を身につ ける	1 年 前 期	30	1		○		○		○					
16	○			ブライダルプ ロジェクト I B	必須行事であるブライダルコンペティション を創り上げることを通して、企画力や発想 力、プレゼンテーション能力を身につける	1 年 後 期	30	1		○		○		○	○	○			
17			○	ブライダル セールスA	姿勢・立ち居振る舞い・コミュニケーション の基礎を学ぶ	1 年 前 期	30	2	○			○		○					
18			○	ブライダル セールスB	新規接客に必要な電話対応・予約受付方法・ 基本的な流れを学ぶ	1 年 後 期	30	2	○			○		○					
19			○	コーディネー トA	テーブルコーディネートに必要な器材の名称 を知り、テーブルプランのパターンを理解す る	1 年 後 期	15	1	○			○				○			
20			○	アテンド実践 B	結婚式当日のアテンド業務・宴会キャプテン 業務を学ぶ	1 年 後 期	15	1	○			○		○					
21			○	サービス実践 A	婚礼・レストランのサービス・マナーの基礎 を学ぶ	1 年 前 期	30	1		○		○		○					
22			○	パーティプロ デュース	テーマを合わせた挙式、披露宴のプランニ ングが出来るよう基礎的な結婚式の流れや用語 を身につける	1 年 前 期	30	1		○		○		○					
23			○	パソコン演習 A	タイピング・Word・Excelの基礎を学ぶ	1 年 前 期	30	1		○		○		○	○	○			
24			○	パソコン演習 B	パソコン演習Aに引き続き、タイピング・ Word・Excelの基礎を学びパソコン技能検定 3級取得を目指す 検定取得後はPowerPointの基礎知識を学ぶ	1 年 後 期	30	1		○		○		○	○	○			
25			○	ベーシックメ イクA	メイクの基礎テクニックを学ぶ（入門）	1 年 前 期	45	2		○		○		○					
26			○	ベーシックメ イクB	メイクの基礎テクニックを学ぶ（検定取得に 向けて学ぶ）	1 年 後 期	45	2		○		○		○					
27			○	ビジネススキ ルA	営業職に必要な基本マナーや基礎スキル、心 をつかむ接客術を実践を交えながら習得する	1 年 前 期	15	1	○			○		○					

28			○	ビジネススキルB	営業職に必要な基本マナーや基礎スキル、心をつかむ接客術を実践を交えながら習得する	1年後期	15	1	○			○		○				
29			○	リーダーシップ論A	様々なタイプの人を動かす力を学び自分にあった自己のモチベーション・リーダーとしてメンバーのモチベーションを上げるスキルを身につける また、ウェディングプランナーとして結婚式を作り上げるうえでの様々な業種を束ね、まとめあげる為のスキルを身につける	1年前期	30	1		○		○		○				
30			○	リーダーシップ論B	様々なタイプの人を動かす力を学び自分にあった自己のモチベーション・リーダーとしてメンバーのモチベーションを上げるスキルを身につける また、ウェディングプランナーとして結婚式を作り上げるうえでの様々な業種を束ね、まとめあげる為のスキルを身につける	1年後期	30	1		○		○		○				
31			○	ブライダルプランナー検定I	ブライダルプランナー検定1級の取得を目指し日米の結婚式についての知識を身につける	1年後期	45	3	○			○		○				
32			○	サービス実践B	婚礼・レストランのサービス・マナーの基礎を学ぶ	1年後期	30	1		○		○		○				
33			○	ホテル概論I	ホテルの歴史、組織の特徴を学ぶ	1年後期	15	1	○			○		○				
34			○	レストランサービス検定対策I	HRS筆記検定合格 料飲のノウハウを学ぶ	1年後期	30	2	○			○		○				
35			○	レストランサービス演習I	HRS実技検定合格 ホスピタリティー・サービスの基本を学ぶ	1年後期	30	1		○		○		○				
36			○	撮影基礎演習	ウェディングフォト（婚礼写真）の知識、撮影基礎技術を学び、ウェディングフォトの提案および撮影テクニックを身につける。	1年後期	30	1		○		○		○				
37			○	インターンシップI	ブライダルの現場を通して、現場力・即戦力・社会人としてのマナーを身に付ける	1年後期	60	2			○		○		○		○	○
38	○			ブライダル知識IIA	ブライダルコーディネーター検定取得を目標としブライダル業界全体の知識を身につける	2年前期	30	2	○			○		○				
39	○			ブライダル知識IIB	ブライダルコーディネーター検定取得を目標としブライダル業界全体の知識を身につける	2年後期	30	2	○			○		○				
40			○	キャリアデザインIIA	就職活動に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける	2年前期	15	1	○			○		○				

41			○	キャリアデザインⅡB	就職活動に向けて具体的な対策と社会人になるための知識を身につける	2 年 後 期	15	1	○			○		○		
42			○	ブライダルジュエリー	ブライダルに関わるジュエリーの基礎知識を学ぶ	2 年 前 期	15	1	○			○		○		
43	○			ブライダルプロジェクトⅡA	必須行事であるウェディングプロデュースを創り上げることを通して、披露宴の流れや、企画力、接客力、実践力を身につける	2 年 前 期	30	1		○		○		○		
44	○			ブライダルプロジェクトⅡB	必須行事であるウェディングプロデュースを創り上げることを通して、披露宴の流れや、企画力、接客力、実践力を身につける	2 年 後 期	30	1		○		○		○		
45			○	コーディネートB	会場の雰囲気を作り出す要素を理解し、テーマに合わせたコーディネートを考えられる力を身につける	2 年 前 期	15	1	○			○			○	
46			○	コーディネートC	会場の雰囲気を作り出す要素を理解し、テーマに合わせたコーディネートを考えられる力を身につける	2 年 後 期	15	1	○			○			○	
47			○	心理学	ブライダル業界のスタッフとしてお客様心理や一緒に働く仲間の心理と自己のモチベーションマネジメントを身に付ける	2 年 後 期	30	2	○			○			○	
48			○	ブライダル英会話ⅠA	英語に興味を持ち、お客様に声掛け・ご案内のできるスキルを身につける	2 年 前 期	30	1		○		○		○		
49			○	ブライダル英会話ⅠB	英語に興味を持ち、お客様に声掛け・ご案内のできるスキルを身につける	2 年 後 期	30	1		○		○		○		
50			○	プレゼン・コミュニケーションA	場面や相手にふさわしい挨拶、正しい日本語、姿勢や表情の作り方、傾聴力など、お客様とのコミュニケーションに必要なスキルを学ぶ ロールプレイング等を通して営業職に必要なスキルを身に着ける また、アナウンスの授業も取り入れることで結婚式全体の流れを学ぶ	2 年 前 期	30	1		○		○		○		
51			○	プレゼン・コミュニケーションB	場面や相手にふさわしい挨拶、正しい日本語、姿勢や表情の作り方、傾聴力など、お客様とのコミュニケーションに必要なスキルを学ぶ ロールプレイング等を通して営業職に必要なスキルを身に着ける また、アナウンスの授業も取り入れることで結婚式全体の流れを学ぶ	2 年 後 期	30	1		○		○		○		
52			○	ブライダル映像知識	ブライダル映像の基礎知識・編集を学ぶ	2 年 前 期	30	1		○		○		○		
53			○	WEBプランニング	WEBマーケティング・WEB打合せスキルを学びプランニングを行う	2 年 後 期	30	1		○		○		○		

54			○	ブライダルヘアメイクⅠ	ヘアアレンジの基礎テクニックを活かし、アレンジ力技術の幅を広げる	2 年 前 期	30	1		○		○		○					
55			○	ブライダルヘアメイクⅡ	ヘアアレンジの基礎テクニックを活かし、アレンジ力技術の幅を広げる	2 年 後 期	30	1		○		○		○					
56			○	着付けA	着付けに関する知識・技術を身に付けると同時に、検定取得を目指していく	2 年 前 期	30	1		○		○					○	○	
57			○	着付けB	着付けに関する知識・技術を身に付けると同時に、検定取得を目指していく	2 年 後 期	30	1		○		○					○	○	
58			○	ブライダルフェア企画・プレゼンA	現在のブライダル業界の動向・流行を踏まえ、各会場に合った企画の立案ができ、社内や新郎新婦へ向けての訴求力を高める技術を磨く	2 年 前 期	30	1		○		○		○					
59			○	ブライダルフェア企画・プレゼンB	現在のブライダル業界の動向・流行を踏まえ、各会場に合った企画の立案ができ、社内や新郎新婦へ向けての訴求力を高める技術を磨く	2 年 後 期	30	1		○		○		○					
60			○	ITコミュニケーションスキルA	社会人で使用する実践的なパソコンスキルとPowerPointで相手に伝わるプレゼンテーションの作り方を学ぶ	2 年 前 期	30	1		○		○		○		○	○		
61			○	ITコミュニケーションスキルB	ビジネスメールの知識を学び、ITスキルとして簡単なHP作成が出来るようになる	2 年 後 期	30	1		○		○		○		○	○		
62			○	ブライダルプランナー検定Ⅱ	ブライダルプランナー検定1級の取得を目指し日米の結婚式についての知識を身につける	2 年 前 期	45	3	○			○		○					
63			○	オリジナルプランニングA	ホテルやゲストハウスなどの場所やお客様のニーズに合わせたプランニング力を身につける	2 年 前 期	30	1		○		○		○		○			
64			○	オリジナルプランニングB	ホテルやゲストハウスなどの場所やお客様のニーズに合わせたプランニング力を身につける	2 年 後 期	30	1		○		○		○		○			
65			○	ハウスセールスA	新規接客に必要な知識、アンケートの目的、カウンセリング力を学ぶ	2 年 前 期	30	1		○		○		○		○			
66			○	ハウスセールスB	新規接客時における、会場見学からクロージングまでを学ぶ	2 年 後 期	30	1		○		○		○		○			
67			○	ブライダルデザインA	illustratorソフトの基礎技術を習得し、ブライダルの現場で活用できるようになる	2 年 前 期	30	1		○		○		○		○			
68			○	ブライダルデザインB	illustratorソフトの基礎技術を習得し、ブライダルの現場で活用できるようになる	2 年 後 期	30	1		○		○		○		○			

69			○	ホテル概論Ⅱ	ホテルの特徴を学び、様々な部門の業務を理解する	2 年 前 期	15	1	○			○		○					
70			○	レストランサービス検定対策Ⅱ	HRS筆記検定合格 料飲のノウハウを学ぶ	2 年 前 期	30	2	○			○		○					
71			○	ホテルプランニングA	ホテルやゲストハウスなどの場所やお客様のニーズに合わせたプランニング力を身につける	2 年 前 期	30	1		○		○		○					
72			○	ホテルプランニングB	ホテルやゲストハウスなどの場所やお客様のニーズに合わせたプランニング力を身につける	2 年 後 期	30	1		○		○		○					
73			○	レストランサービス演習ⅡA	HRS実技検定合格 ホスピタリティー・サービスの基本を学ぶ	2 年 前 期	30	1		○		○		○					
74			○	レストランサービス演習ⅡB	HRS実技検定合格 ホスピタリティー・サービスの基本を学ぶ	2 年 後 期	30	1		○		○		○					
75			○	ホテルセールスA	新規接客に必要な知識、アンケートの目的、カウンセリング力を学ぶ	2 年 前 期	30	1		○		○		○					
76			○	ホテルセールスB	新規接客時における、会場見学からクロージングまでを学ぶ	2 年 後 期	30	1		○		○		○					
77			○	ブライダル撮影演習A	ミラーレス又は一眼レフカメラ撮影において、カメラの構造や操作技能の理解を深める。状況に応じたカメラの設定や、自身のイメージした撮影ができるようになる	2 年 前 期	30	1		○		○					○		
78			○	ブライダル撮影演習B	ミラーレス又は一眼レフカメラ撮影において、カメラの構造や操作技能の理解を深める。状況に応じたカメラの設定や、自身のイメージした撮影ができるようになる	2 年 後 期	30	1		○		○					○		
79			○	写真・動画編集A	ウェディングにおける各シーンの撮影手順、編集技術を理解し、商品（作品）としての編集、完成を目指す	2 年 前 期	30	1		○		○						○	
80			○	写真・動画編集B	ウェディングにおける各シーンの撮影手順、編集技術を理解し、商品（作品）としての編集、完成を目指す	2 年 後 期	30	1		○		○						○	
81			○	広報スキルA	カメラマンとしての広報へのアプローチ・計画実行やアプローチのテクニックを身につける。ブライダル業界内外関わらず、広報の基礎知識の応用ができる	2 年 前 期	30	1		○		○						○	
82			○	広報スキルB	カメラマンとしての広報へのアプローチ・計画実行やアプローチのテクニックを身につける。ブライダル業界内外関わらず、広報の基礎知識の応用ができる	2 年 後 期	30	1		○		○						○	
83			○	インターンシップⅡ	ブライダルの現場を通して、現場力・即戦力・社会人としてのマナーを身に付ける	2 年 前 期	60	2			○		○				○	○	

84			○	インターン シップⅢ	ブライダル現場を通して、現場力・即戦 力・社会人としてのマナーを身に付ける	2 年 後 期	60	2			○		○		○	○
合計					84 科目			107 単位（単位時間）								

卒業要件及び履修方法		授業期間等	
卒業要件： 本校に修業年限以上在学し、所定の単位を修得し校長に卒業を認められた者に、卒業の認定を行う。		1 学年の学期区分	2 期
履修方法： 原則として教育課程に定められている順序で履修する。		1 学期の授業期間	15 週

（留意事項）

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合
- 2 企業等との連携については、実施要項の3（3）の要件に該当する授業科目について○を付すこと。